

相馬ゆうこの



HP

南千住 レポート

まちづくり・
くらしの情報を
とどけます

相馬ゆうこ事務所

荒川区南千住5-1-6・2階

☎・FAX 3807-4192

区議団控え室(荒川区役所内)

☎ 3802-4627

FAX 3806-9246

✉ arajcp@tcn-catv.ne.jp

araken-nan.jugem.jp

保育園が減少…区内の保育環境の充実を

南千住5丁目の「ぼけっとランド南千住」(都・認証保育所)が3月



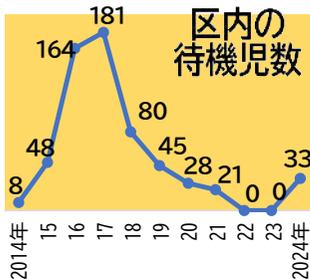
ぼけっとランド南千住

末で閉園に。同園は、待機児童対策が急がれていた2011年、区が事業者を誘致して開設。0～2歳児のみの小規模園で、当初の定員50名から現在は20名で運営、7名の在園児は卒園や他園に転園が決まっています。



小規模園に 2023年にはピノキオ幼児舎(8もつと支援を 丁目)と細田保育室(1丁目)、今年度はぼけっとランド南千住(5丁目)、みるく保育園(東尾久)など、0～2歳児の小規模園が相

次いで閉園です。産休・育休明け保育や1歳児の保育確保に寄与した小規模園ですが、児童減少と物価高騰などで経営が困難に。少子化でも保育サービスの需要は増えており、希望者の入園とゆきとどいた保育確保に



区の計画的な支援が必要です。



園のHPより

閉園から1週間で解体に!?

ぼけっとランドの建物は、4月7日(月)から解体工事で更地に。通っていた子どもの気持ちを考えると早すぎる気も。



貴重な区有地 今後どう活用!?

この建物はもともと南千住五丁目ひろば館(旧老人福祉館)ですが、区が事業者に無償で譲渡、改修に区・都の補助約6000万円を活用して保育園に。土地は21年間の定期借地契約として月額20万円で区が貸付けていました。今回、契約満期の2032年より7年早く、事業者負担で建物を除去し、返却されます。

建物は築50年近いため解体・除却としたようですが、今後この敷地をどう活用するのか、建物の活用の道はなかったのか区の検討内容も検証したい。貴重な区の施設、敷地だけに活用方法など含め、みなさんのご意見もお寄せ下さい。



旧南千住5丁目ひろば館

都バスの「雨の日臨時便」が3月末で廃止

都交通局は、南千住駅東口から汐入地域や3丁目を走る都営バス〔上46〕の「雨降りダイヤ」を、3月末で廃止すると発表しました。



「雨降りダイヤ」は雨天時の臨時便で、〔上46〕の南千住3丁目～南千住駅東口間を、前日の天気予報で降水確率が50%以上の場合に、翌朝の運行を10→17便に増便。雨の日の通勤通学時間帯の利用者増に対応していましたが、「利用者が少ない」「運転手の不足」などを理由に廃止に。



都バス〔上46〕

汐入さくらも廃止で雨天時の利用どうなる 廃止になり「都バスだけでは、雨の日の通勤通学時間帯は乗りきれなくなるのでは」と不安の声があがっています。荒川区は「臨時便にも余裕があり汐入さ

区HPのお知らせ

荒川区コミュニティバス「汐入さくら」の運行終了



くらがなくなっても都バスで乗り切れる」と説明してきましたが、そもそも「雨降りダイヤの乗車率が低い」というのは汐入さくらが運行しているからではないで

諸般の理由により、令和7年3月31日（月曜）をもって、荒川区コミュニティバス「汐入さくら」の運行が終了することとなりました。これまで「汐入さくら」をご利用下さいまして、誠にありがとうございました。

しょうか。4月から汐入さくらも都バス臨時便も廃止で、雨の日の利用増に添えていけるのでしょうか。拙速な廃止はやめてほしい。

移動の確保は 都交通局は今後、「荒天で利用者急増が見込まれ、かつ運転手が公共の責任で 確保できた場合に、2台連続して走らせる」としていますが、廃止理由に運転手不足をあげているだけに、連続運行の実施には不安があります。共産党区議団が求めている「汐入さくら廃止後の影響調査」も否定し、必要な補助を行わず地域交通の確保を事業者



任せにしてきた区の責任が、改めて問われます。東京都も区も住民の移動確保に責任をもって対応するよう求めたい。

バス停にお知らせはないのかな?と思い探してみたら、時刻表の隅に小さく「4月1日以降、路線混雑や多客等により遅延が生じる可能性があります」と書かれていました



(裏面に関連→)

〈法律・生活相談〉

4月の定例法律相談日は 10日(木)です

ご要望やご相談などは随時ご連絡ください。事務所での定例法律相談は毎月第2木曜18時から。平日の午後法律事務所（北千住）でも可能です。お名前と電話番号等を下記の留守番電話に録音して下さい。

相馬 ゆうこ事務所 南千住5-1-6・2階 ☎ 3807-4192

昭和～再開発の汐入地域の交通事情

南千住の東側、汐入地域（8丁目）や3・4丁目は昭和の地域交通は都バス（上46系統）一本だけで、交通の便の改善は昔から課題だったそうです。1969年に都が基本構想を策定、88年から防災再開発事業が着手され、公園・道路・住宅に2つの橋も整備され、人口増とともに都バス路線も新規・拡大されてきました。



1982年の汐入

【汐入地域の再開発と交通の経緯】

1948(昭23)年 12月	都営バス16系統（浅草寿町～汐入、現 [上46]）開通
1972(昭47)年 11月	都営バスが新番号化、16系統から [上46] に
1988(昭63)年 3月	白鬚西（汐入）地区市街地再開発事業に着手
1989(平元)年 3月	水神大橋が完成
1996(平8)年 7月	水神大橋の自動車道路供用を開始
2002(平14)年 4月	都営バス [上46] 南千住汐入～南千住駅東口を延伸 都営バス [南千40]（南千住駅東口～墨田一丁目・循環）、 [南千48]（南千住駅東口～亀戸駅）開通
2005(平17)年 4月	コミュニティバス「さくら」開通
5月	都営バス [南千47]（南千住駅東口～日暮里駅）開通
2006(平18)年 2月	千住汐入大橋が完成
4月	都営バス [南千40] 廃止
10月	コミュニティバス「汐入さくら」開通
2010(平22)年 3月末	白鬚西（汐入）地区市街地再開発事業が完了
2013(平25)年 3月末	京成バス「北千01・02」（南千住駅東口～北千住駅東口）開通
4月	都営バス [南千47] 廃止
2015(平27)年 4月	都営バス [南千48] と [墨38] が統合、[錦40] に
2024(令6)年 3月末	京成バス「北千01・02」廃止
2025(令7)年 3月末	汐入さくら廃止

汐入～駅東口、最大で10本/1hも

2002年には [上46] が南千住駅東口まで延伸、水神大橋を渡る [南千40]（駅東口～墨田一丁目・循環）、 [南千48]（駅東口～亀戸駅）が新たに開通。さらに05年に [南千47]（駅東口～日暮里駅）、06年には「汐入さくら」が開通し、汐入地域と駅東口をむすぶ便は、最大で1時間に10本程度が運行していました。

消えた区役所直通ルート

とくに [南千47] は、平日の昼間1時間に1本程度の運行でしたが、汐入地域と区役所を直接むすぶ貴重なルートでした。しかし当時、さくらと汐入さくらの一部で直通運転が行われていたこともあり、残念ながら2013年に廃止。 [南千40] [南千48] も廃止、京成バスの「北千住線」や汐入さくらも廃止となり、令和のいま、汐入の交通は昭和に逆戻りで、都バス [上46] の一本のみになるようしています。



さくらと南千47の路線図(2005年)

街並みが変わっても住み続けられるよう

現在整備中の都市計画道路補助331号線（コツ通り～ドナウ通り）は2027年4月開通予定で、開通に合わせてさくらバスの東口までの延伸も検討されています。変わる街並みを見守ってきたみなさんが、これからも住み続けられるまちにしたい。

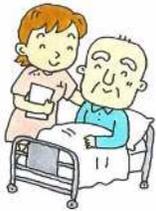
「高額療養費引き上げ」見直しの意見書を提出

区議会2月会議で、日本共産党区議団が提案した「高額療養費の上限額引き上げの見直しを求める」国への意見書が、自民党をふくめ賛成多数で可決されました（公明党は提出者にならず）。



23区では、中野区議会でも同様の意見書を提出。区民の声を示す荒川区議会の意見書を、政府はしっかり受けとめてほしい。

見送りではなく 高額療養費の上限
白紙撤回を 額引き上げについて、
政府は患者団体などの切実な要望を受け、今年8月からの引き上げを見送り、秋までに改めて方針を決定するとしています。すべての世代にとってのセーフティネットである同制度の引き上げは、患者の命をおびやかすもので、見送りではなく白紙撤回と引き下げこそ必要です。



引き続き、荒川区からみなさんと一緒に声をあげたい。

引き続き、荒川区からみなさんと一緒に声をあげたい。

議員提出議案第5号
高額療養費制度における負担上限額引き上げの見直しを求める意見書提出について
上記の議案を荒川区議会議員第14条第1項の規定に基づき提出する。
令和7年3月14日

提出者 荒川区議会議員

若林 由季	西川 浩平	土橋 圭子
夏目 悠季	鎌田 輝光	菅谷 元昭
明戸真弓美	茂本 弘	辻本 一元
倉森 泰紀	北城 貞治	花澤 紹信
山本 剛	大月 健弘	宮本 森馬
竹内 明浩	清水 啓史	相馬ゆうこ
北村 綾子	横山 幸次	斉藤 邦子
小島 和男	鬼頭あきゆき	久家しげる
山田 晴美		

荒川区議会議長 北城 貞治 様

高額療養費制度における負担上限額引き上げの見直しを求める意見書
政府は2025年度予算案に、すべての所得層で高額療養費制度の自己負担上限額を引き上げる方針を盛り込みました。同制度は、大きな病気や事故で高額な医療費がかかった際、患者の年齢や年収に応じて医療費の自己負担に月単位の上限額を設けているものであり、全世代にとって欠かせないセーフティネットです。がんなどで長期にわたり治療を受け、高額な医療費を負担する患者・家族にとって、高額療養費制度は「まさに命綱」と言える制度です。
一般社団法人全国がん患者団体連合会は、厚生労働省などに提出した「高額療養費制度における負担上限額引き上げの検討に関する要望書」において、「現役世代の中には、仕事や日常生活を続けながらぎりぎりの範囲で医療費を毎月支払い続けている患者とその家族もおり、高額療養費制度における負担上限額引き上げは、高額療養費制度の負担上限額まで支払っている患者とその家族、特に「長期にわたって継続して治療を受けている患者とその家族」にとっては生活が成り立たなくなる、あるいは治療の継続を断念しなければならなくなる患者とその家族が生じる可能性が危惧されます」と訴えています。
思いがけず大病を患ったり、事故に遭うことは、どの世代にも起こり得ることです。その際の自己負担が上がることは国民の不安を増大させることにもなるため、引き上げは見直すべきです。よって、荒川区議会は、政府に対し、高額療養費制度における負担上限額引き上げの見直しを強く求めます。
以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出します。
令和7年 月 日
荒川区議会議長名
内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣あて



「西口周辺のポイ捨てが気になる…」



ご意見いただいています。

「南千住駅西口のデニーズ周辺で、喫煙しながら飲食する人が多く、ゴミも放置してあって気になります…デニーズに協力してもらい、喫煙禁止のポスターを目立つ場所に貼らせてもらうなど対策を」とのこと。みんなで気を付けて、対策も考えたい。



ご意見・ご質問頂きました ○「汐入さくらバスを孫が通学で朝夕使っています。父母が帰るまで孫の世話をしていますが、さくらバスがなくなるのは本当に不便。新区長さんの発言に期待していましたが、残念です」とお電話頂きました。周辺の足立、墨田、台東区どこも必要な補助をしており、荒川区の姿勢が問われます。○「借地の更新に合わせて地代の値上げが…、物価高、土地が上がり、地主さんも大変かもしれませんが、毎月の出費が増えるのは不安」不動産投資が暮らしを圧迫、対策が必要。

